

学部長・学科長(鍼灸学科)から

「森ノ宮医療大学の役割」

森ノ宮医療大学保健医療学部保健医療学部学部長 中村辰三

昨今、理学療法や鍼灸療法の業界にあっても治療法や施術の手法などの科学化、EBMの必要性が叫ばれています。日常の臨床においてもEBMを常に念頭において、その業績を集積していく努力が必要となります。このような社会環境の中にあって、そのニーズに応えていくためには研究教育機関としての大学が必要不可欠であり、また高等教育機関としての役割を担うものとしても大学の新設は意義深いものと考えられます。

本大学は基礎と臨床の先生方が互いに協力して、最新の様々な医療機器を駆使して、鍼灸分野、理学療法分野におけるEBMなど研究の成果を世間に報告するための「科学化の場」であります。

一方、学生諸君も4年間という大学生活の中で、色々な経験をするわけですが、少人数でのゼミの教官との触れ合いの中で研究の手ほどきを受けることもできるでしょうし、ゼミ仲間との共同作業での論文作成は、お互いに協力し合うことで、良き人間形成の場ともなるでしょう。また研究に興味を抱いて研究者の道に進む者も出てくることもあるでしょう。これらは後進の育成として極めて自然で有意義な方法であり、専門学校とは異なる大学教育の良さでもあります。

専門学校との関わりの中では、近い将来にはUP DATEに研究の成果

を専門学校の学生諸君に還元するのみならず、また姉妹校として専門学校でも大学の教授やスペシャリストの講義を折々に聴いていただける機会もあるでしょう。今後、互いに精進し協力し合ってより良いパートナーとなることを期待するものです。

プロフィール

- 同志社大学 卒業
- 明治東洋医学専門学校校長、明治鍼灸大学・大学院教授を歴任・大阪大学博士(学術)
- ACUPUNCTURE CENTER OF MASSACHUSETTS (BOSTON)で臨床従事。この間、MASSACHUSETTS GENERAL HOSPITALでPAIN RESEARCHに従事。UNIVERSITY OF MASSACHUSETTSにて鍼灸講座。New York Stateの鍼灸師免許(No.45)

研究分野: 眼科領域の鍼灸臨床、筋損傷のエコー観察や筋中のヘモグロビン動態

共著書: 「鍼灸師、柔整師のための医学英語」、

「柔整師のための超音波観察法」ほか

趣味: ゴルフ(11)、陶芸、ビール造り



「大学の鍼灸学科が目指すもの」

森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科学科長 山下 仁

学園内外の多くの皆様の助けを借りて、今、森ノ宮医療大学の歴史が始まろうとしています。赴任して間もない私も、少しずつですが本学園の建学の精神を体感し学ばせていただきながら開学の日を迎えようとしています。

鍼灸は長いあいだ日本人に親しまれてきた伝統医療であり、この医療体系の真髄は我が国において伝統芸能と同じように後世に継承してゆかなければならないものです。しかしながら同時に、鍼灸が論理的妥当性のある医療の選択肢のひとつだという科学的根拠(エビデンス)を示すことも現代においては重要なことです。すでにでき上がっている知識と技術を伝えることは鍼灸学校にとって大切な義務であります。大学はそれに加えて患者さんや鍼灸界に役立つ新しいエビデンスや知識を自前で創り上げていくという責務も果たさなければなりません。また、創り上げたエビデンスや知識を広く医療界に発信してゆくのも大学の社会的義務です。これらの責務を果たしてこそ「大学の鍼灸学科」であると言えます。

森ノ宮医療大学の鍼灸学科が理学療法学科と共にこれから創り上げてゆく新しいエビデンスと知識が、鍼灸臨床・鍼灸師教育・医療行政など

広範な分野に影響を及ぼし、校友会が誇れるような情報と交流と知の拠点となるよう努力する所存です。今後とも御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

- 明治鍼灸大学鍼灸学部鍼灸学科卒業、鍼灸師
- 愛媛県立中央病院東洋医学研究所技師、筑波技術短期大学(現:筑波技術大学)助手、英国エクセター大学補完医学研究室客員研究員、東京大学医学部家族看護学教室客員研究員、群馬大学大学院医学系研究科非常勤講師を経て現職。
- 博士(保健学)(東京大学)

研究分野: 鍼灸臨床研究方法論、鍼灸の安全性、統合医療概論

主な著書: 「鍼治療の科学的根拠」(共訳 医道の日本社 2001)

「現代鍼灸臨床試験—国家試験に出題されない必須科目!?」(桜雲会 2005)

「統合医療 基礎と臨床」(共著 日本統合医療学会 2005)



WTCで受験生応援イベント 杉山 愛&為末 大トークショー開催



広報室 斎藤恒之

去る12月2日、あいにくの雨にもかかわらず、受験生や遠方からのファンなど200人余が、およそ3時間にわたる2人のトークショーを楽しみました。

「走る」のが好き。それ

を仕事にして今、世界の頂点に立つ夢を持って毎日精進できる幸せを感じるという陸上400mプロハードラーの為末選手、勝負の駆け引きのワクワク・ドキドキ感を心から楽しんでいるプロテニスプレーヤーの杉山選手。

2人は笑顔の中にも、ピシッと芯の通った世界レベルのプロ魂を披露しつつ、スポーツトレーナーを志望して森ノ宮医療大学をめざす受験生たちに熱いメッセージを送ってくれました。

大学キャンパスに植樹

校友会総務 清水尚道

森ノ宮医療大学が大阪南港コスモスクエア地区に開学するにあたり、校友会では大学設置を記念してキャンパス内の緑化支援を行うことが、平成18年度校友会総会(11月3日開催)にて承認され、2千万円を寄付いたしました。

この緑化支援(寄付)により、大学キャンパスにはキャキキなど数千本の植樹が行われました。



大学校舎竣工!

3月15日(木)、森ノ宮医療大学竣工感謝の会が、新学舎1階ホールにて来賓・関係者をはじめ教職員等約80名の参列のもと行われ、尽力いただいた方々の苦勞を労いつつ工事の無事完成を祝いました。また、会後は学生食堂(キャナルクラブ)に場所を移し、ティーパーティーが行われました。

